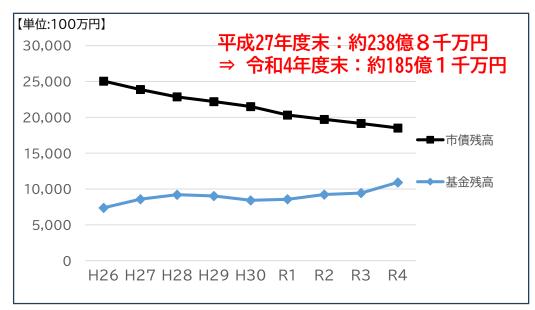
持続可能な都市経営

効率的で質の高い都市経営を確立し、分権時代にふさわしい市民との協 働によりサスティナブルな健康都市を目指します。

これまでの取組(主な実績)



市債(市の借入金)残高の削減

持続可能な「健全財政」を堅持するため、 不断の行財政改革に取り組むとともに、 ネーミングライツや個人・企業のふるさと 納税の活用などにより、自主財源の確保を 図りました。

これらの取組により、2期8年間で、市の借入金である市債残高(全会計)を約53億7千万円を縮減しました。



「市民と市長のまちトーク」の開催

市民の皆様の声を直接お聞きするため、「市民と市長のまちトーク」を公民館等で開催し、いただいたご意見を積極的に市政に取り入れました。

また、「市長への手紙」に加えて、新たに「市長へのメール」を創設し、私自身が全ての手紙・メールを確認し、希望する方にお返事をお送りしています。

■これまでの取組(主な実績)



「おくやみ窓口」の開設

ご家族が亡くなった際、ご遺族の不安や 負担を少しでも軽減できるよう、死亡届出 後の市役所の様々な手続きが1つの場所で できる「おくやみ窓口」を開設しました。

関係課の職員が順次「おくやみ窓口」に 出向くため、ご遺族が各課の窓口を移動 することなく、手続きを行っていただく ことができます。



「広報おおぶ」をはじめ情報発信の強化

多くの市民の皆様に親しんでいただけるよう、「広報おおぶ」のデザイン性を高めたことで、愛知県広報コンクールの特選を受賞しました。

また、SNSを積極的に活用するとともに、 マスメディアを通じた情報発信により、 全国放送のテレビで大府市の取組が報道 され、市の魅力を市内外にPRしました。

その他、これまでの取組

- 1 クラウドファンディングの活用(鈴木 バイオリン製造移転支援、大府市民球場 整備など)
- 2 コンビニエンスストアでの住民票などの 交付、市役所でのパスポートの交付
- スマホ納税の導入(全税目)と市県民税の オンライン申告の開始(全国初)
- 4 公衆無線LAN(Wi-Fi)の整備(大府駅前、 市役所、公民館、アローブなど)
- 地域貢献活動研修として大府青年会議所に 市職員を派遣

- シティプロモーションの強化(新聞やテレビなどのマスメディアで報道、SNSを活用した情報発信、市広報大使の任命)
- 長野県王滝村・木曽町との水源地の森林の 保全・育成の連携協定締結(森林環境譲与 税を活用)



長野県王滝村長、木曽町長との連携協定締結式

これからの主な取組

- ・市債(市の借入金)残高(全会計トータル)の縮減
- ・ 国民健康保険税資産割の廃止
- デジタルを活用した「行かなくても良い」「書かな
- くても良い」市役所窓口の推進
 - ・キャッシュレス決済の拡大
- ・様々な縁や結びつきを契機とした都市間交流の深化 と市民の交流機会の拡大(岩手県遠野市、愛媛県新居浜 市、沖縄県読谷村、長野県王滝村・木曽町など)
 - ・東浦町との連携強化による市民サービスの向上
- ・市内の清掃活動(530(ごみゼロ)運動、クリーン・アップ・ザ・ワールドin大府などを活用)の推進



